

# 女性技術者による意見交換会 を開催しました

四国地方整備局 企画部 企画課



意見交換会の様子

平成27年2月2日、「女性技術者による意見交換会」と題して、建設業に携わる建設会社、建設コンサルタント、公務員（四国地方整備局）の女性技術者12名にお集まりいただき、自らの現場での経験談も交えつつ下記の3つのテーマについて話し合ってもらいました。

## 【テーマ：建設業界に就職したきっかけ】

それぞれに違ったきっかけを持つなかで、「小さい頃に瀬戸大橋が開通したり、近所の大きなバイパスが出来たのが印象に残っていた。」といった話や、「土木出身ではなく元々はデザイン系の仕事をしてたのが、グラフィックソフトを使える人材として採用された。」といった話もありました。

また、就職後に感じたギャップとして「契約社員の方もいて思ったより女性がいた。」「施工管理など学校では学んでおらずどのような仕事が分からなかった。」などの意見が出されました。

## 【テーマ：女性が働きやすい職場環境、建設現場環境について】

職場環境の課題として「現場のトイレは気になる。」「幼児保育や子供の病気への対応など家庭と仕事との両立に周りの理解はまだまだ進んでいない。」などの意見が出されたほか、女性ならではの働き方として「家庭で時間が制限されるだけに、効率良く時間管理できるようになった。」「何かあっても周りに対応できるようにデータ整理を心がけている。」といった仕事のコツも聞かれました。

## 【テーマ：これからの女性技術者の採用について】

子を持つ親の視点から「医者や博士になりたいと言う子供はいても、土木技術者になりたいとは言わない。道路や川は身近な話のはずなのに。子供達が職業として土木を目指してくれるような取り組みが必要。」「子供に自分の仕事について話すとき、『大変ではあるけど、楽しいよ。』と前向きに伝えるようにしている。」などの率直な意見が出されました。

一方、現実として「昔は採用者が多く若手の育成期間も充分にあったが、最近では即戦力として求められるためプレッシャーが大きいのでは。」「人を育てるつもりがないと、業界は駄目になる。」といった厳しい声も聞かれました。

最後に、将来の建設業の担い手である学生などに向けて「建設業界は入れば楽しい。目に見えてものが出来る達成感がある。」「女性が増えれば雰囲気も変わる。」などのメッセージがありました。

以上を受け、四国地方整備局企画部の原田企画調査官より「みなさんの努力に甘えていた部分もあったと改めて認識させられた。環境面など魅力のある建設業にしていくための努力や、根気強く人材を育てるための努力が必要であり、今後もアドバイスをお願いしたい。」との講評があり、意見交換会は閉会しました。

### 意見交換会 参加者名簿

所属	役職	氏名	備考
(株)広瀬組 工務部	技術主任	岡田 扶美	
(株)合田工務店 建築本部 建築部 建築課	主任	片岡 賢美	
(株)藤田組	代表取締役	藤田 由美	
(株)小島組 土木部		関本 笑弥	
(株)四電技術コンサルタント 徳島支店 環境部 徳島グループ	課長	小藤 美樹	
四国建設コンサルタント(株) 技術二部 地質調査課	課長補佐	仲間 真紀	
(株)フジタ建設コンサルタント 第1事業部	主任	大寺 礼子	
(株)第一コンサルタンツ 設計一部 地盤防災課		山内 佐恵	
四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課	係長	相田 晴美	進行
四国地方整備局 香川河川国道事務所 高松国道維持出張所	管理係長	綾 早都美	
四国地方整備局 中村河川国道事務所 四万十川出張所	技術係長	田代 早紀	
四国地方整備局 道路部 道路工事課		松尾 怜	



関本笑弥氏 藤田由美氏 相田晴美氏 田代早紀氏 仲間真紀氏 小藤美樹氏 松尾怜氏  
綾早都美氏 岡田扶美氏 片岡賢美氏 大寺礼子氏 山内佐恵氏